



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社ファルテック
 コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,582	△37.0	△1,214	—	△1,165	—	△856	—
2020年3月期第1四半期	19,984	△4.2	△121	—	△196	—	△136	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,345百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 333百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△91.34	—
2020年3月期第1四半期	△14.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	68,455	18,452	24.1	1,757.40
2020年3月期	69,826	20,070	25.8	1,920.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,480百万円 2020年3月期 18,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 第2四半期末の配当予想につきまして、従来通り0円とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	△23.8	△600	—	0	△100.0	△700	—	△74.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細につきましては、本日公表致しました「2021年3月期 連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	9,378,600株	2020年3月期	9,378,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	628株	2020年3月期	628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	9,377,972株	2020年3月期1Q	9,377,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の抑制や移動制限の影響により、極めて厳しい状況となりました。今後の景気動向につきましても、足元では経済活動が再開されつつありますが、新型コロナウイルス感染症に対する抜本的対策がない中、先行きを見通せない厳しい状況が続いております。当社グループの属する自動車業界の概況も、グローバルで販売・生産台数が大きく落ち込み、先行き不透明な状況となっております。

このような情勢の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症影響によるグローバルでのお客様生産台数減の影響を受け12,582百万円（前年同期比37.0%減）となりました。営業損失は、売上高減少に伴う利益減影響等により1,214百万円（前年同期は121百万円の営業損失）となりました。経常損失は、営業外収益として国内設備投資に関連する補助金収入56百万円や新型コロナウイルス感染症に関連する助成金収入28百万円等を計上しましたが営業利益の減少が影響し、1,165百万円（前年同期は196百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、856百万円（前年同期は136百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でお客様の生産工場での操業を停止している生産ラインが多くあったことやお客様の販売が大きく落ち込んだこと等により9,578百万円（前年同期比37.0%減）となりました。セグメント損失は、売上高減少の影響等により1,008百万円（前年同期は216百万円のセグメント損失）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でお客様の生産工場での操業を停止している生産ラインが多くあったこと等により1,583百万円（前年同期比31.7%減）となりました。セグメント損失は、売上高減少の影響等により22百万円（前年同期は99百万円のセグメント利益）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でお客様の生産工場での長期にわたり操業を停止していたこと等により1,420百万円（前年同期比42.3%減）となりました。セグメント損失は、売上高減少の影響等により235百万円（前年同期は47百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は68,455百万円となり前連結会計年度末比で1,371百万円の減少となりました。このうち、流動資産は36,017百万円となり前連結会計年度末比で1,573百万円の減少となりました。流動資産の主な増減は、余裕のある手許資金を保有する方針による現金及び預金の増加3,853百万円、売上高が減少したことによる受取手形及び売掛金の減少5,849百万円等であります。また、固定資産は32,438百万円となり前連結会計年度末比で202百万円の増加となりました。固定資産の主な増加は、建設仮勘定の増加576百万円等であります。

負債は50,003百万円となり前連結会計年度末比で246百万円の増加となりました。このうち、流動負債は29,107百万円となり前連結会計年度末比で4,955百万円の減少となりました。流動負債の主な減少は、仕入減少に伴う支払手形及び買掛金の減少2,168百万円、電子記録債務の減少779百万円に加え、短期借入金の返済による減少2,026百万円等であります。また、固定負債は20,896百万円となり前連結会計年度末比で5,202百万円の増加となりました。固定負債の主な増加は、手許資金を保有することを目的とした長期借入金の増加5,459百万円等であります。

純資産は18,452百万円となり前連結会計年度末比で1,617百万円の減少となりました。純資産の主な減少は、親会社株主に帰属する四半期純損失等による利益剰余金の減少1,128百万円、為替換算調整勘定の減少565百万円等あります。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.1%（前連結会計年度末比で1.7ポイント減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等を踏まえ、開示することと致しました。

なお、予想値の詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期 連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,717	15,571
受取手形及び売掛金	17,013	11,163
商品及び製品	3,344	3,497
仕掛品	539	610
原材料及び貯蔵品	3,204	3,722
その他	1,790	1,469
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	37,590	36,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,427	9,131
機械装置及び運搬具(純額)	7,672	7,205
工具、器具及び備品(純額)	1,252	1,202
土地	6,187	6,168
リース資産(純額)	1,076	1,244
建設仮勘定	2,986	3,563
有形固定資産合計	28,602	28,517
無形固定資産	1,120	1,101
投資その他の資産		
投資有価証券	302	299
繰延税金資産	1,684	2,010
その他	531	515
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	2,512	2,818
固定資産合計	32,236	32,438
資産合計	69,826	68,455

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,060	5,892
電子記録債務	4,554	3,774
短期借入金	11,130	9,104
1年内返済予定の長期借入金	3,324	4,698
リース債務	805	948
未払法人税等	746	146
賞与引当金	982	372
その他	4,458	4,170
流動負債合計	34,062	29,107
固定負債		
長期借入金	8,044	13,503
リース債務	316	382
退職給付に係る負債	5,966	5,631
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	358	371
固定負債合計	15,694	20,896
負債合計	49,756	50,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	13,163	12,034
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,063	14,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	62
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	2,040	2,040
為替換算調整勘定	1,444	878
退職給付に係る調整累計額	△1,578	△1,435
その他の包括利益累計額合計	1,951	1,546
非支配株主持分	2,055	1,971
純資産合計	20,070	18,452
負債純資産合計	69,826	68,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	19,984	12,582
売上原価	17,649	11,719
売上総利益	2,334	863
販売費及び一般管理費	2,455	2,078
営業損失(△)	△121	△1,214
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	7	5
持分法による投資利益	13	—
補助金収入	10	56
助成金収入	—	28
その他	26	31
営業外収益合計	64	131
営業外費用		
支払利息	53	33
為替差損	41	14
持分法による投資損失	—	28
事業所閉鎖損	32	—
その他	12	5
営業外費用合計	140	82
経常損失(△)	△196	△1,165
特別利益		
課徴金返還額	60	—
特別利益合計	60	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	2
工場休止損失	—	21
特別損失合計	8	23
税金等調整前四半期純損失(△)	△144	△1,189
法人税等	△22	△323
四半期純損失(△)	△121	△866
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△9
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136	△856

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△121	△866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	17
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	32	—
為替換算調整勘定	422	△640
退職給付に係る調整額	7	143
その他の包括利益合計	454	△479
四半期包括利益	333	△1,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278	△1,261
非支配株主に係る四半期包括利益	54	△84

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響について）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症拡大の影響について）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,202	2,320	2,461	19,984	—	19,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	215	43	3	262	△262	—
計	15,418	2,363	2,464	20,246	△262	19,984
セグメント利益又は損失 (△)	△216	99	△47	△164	42	△121

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,578	1,583	1,420	12,582	—	12,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	292	17	△0	309	△309	—
計	9,871	1,601	1,419	12,892	△309	12,582
セグメント利益又は損失 (△)	△1,008	△22	△235	△1,266	52	△1,214

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。